# 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名(英) | フィールド・スタディＩＢ (Field Study IB ) 【地域マネジメント】 | | | 授業コード | E048052 |
| 担当教員名 | 今西　衛、舛田　佳弘 | | | 科目ナンバリングコード | E11412 |
| 配当学年 | 1 | 開講期 | 後期(集中) | | |
| 必修・選択区分 | 選択 | 単位数 | 2 | | |
| 履修上の注意または履修条件 | 本授業では土日等を利用して実際に現地に赴く機会が複数あります。部活動やアルバイト等と重ならないよう事前に調整をしておきましょう。 | | | | |
| 受講心得 | 地域の現状や課題に対し、理解を深めること。<br>報告及びディスカッションを行うので、積極的に自分の意見を表明すること。<br>地域マネジメントコース希望者は受講しておくことが望ましい | | | | |
| 教科書 | | | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 橋本 行史 編著「地方創生の理論と実践 -地域活性化システム論- 」、創生社、2015 | | | | |
| 関連科目 | フィールドスタディIA | | | | |

| | |
|---|---|
| 授業の目的 | 温泉県である大分にあって温泉のでない豊後大野市ですが、自然やジオパーク、伝統・文化、地産のものを活かした食など、観光資源化されていない多くの魅力あふれたものがあります。それらを自身で発見・発信できるようになることが本授業の課題です。 |
| 授業の概要 | 自分たち自身で地域の魅力を発見するため、各班に分かれて現地のツアールートを計画・実行してもらいます。事前に訪問ルートやスケジュールを企画し、実際にそのルートを体験して反省と見直しを行います。最終日には班ごとの報告会を実施します。 |

| ○授業計画 | |
|---|---|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第 1 週 :<br>オリエンテーション | 事前に地域の情報を収集しておくこと(8時間) |
| 第 2 週 :<br>第1回豊後大野視察計画作成<br>ツアーのテーマ、訪問地、ルート、スケジュール等を学生自身で決めてもらいます。 | 視察計画の策定(2時間) |
| 第 3 週 :<br>第1回豊後大野視察計画作成<br>ツアーのテーマ、訪問地、ルート、スケジュール等を学生自身で決めてもらいます。 | 視察計画の策定(2時間) |
| 第 4 週 :<br>第1回豊後大野視察(前半)<br>自分たちで決めたツアールートを実際に体験してもらいます。 | |
| 第 5 週 :<br>第1回豊後大野視察(後半)<br>自分たちで決めたツアールートを実際に体験してもらいます。 | |
| 第 6 週 :<br>第1回豊後大野視察振り返り<br>自身が観光客だったとして満足できたか、またその理由について話し合ってもらいます。 | 振返り(4時間)、レポートは後日返却します |
| 第 7 週 :<br>豊後大野市イベント参加 | 振返り(4時間)、レポートは後日返却します |
| 第 8 週 : | |

| | |
|---|---|
| 第2回豊後大野視察計画作成<br>第1回の振り返りに基づき、より魅力的な計画を立ててもらいます。 | 視察計画の策定(2時間) |
| **第 9 週 :**<br>第2回豊後大野視察計画作成<br>第1回の振り返りに基づき、より魅力的な計画を立ててもらいます。 | 視察計画の策定(2時間) |
| **第10週 :**<br>第2回豊後大野視察(前半)<br>観光客としての視点に加え、自身のふるさとという感覚も持って体験してもらいます。 | |
| **第11週 :**<br>第2回豊後大野視察(後半)<br>観光客としての視点に加え、自身のふるさとという感覚も持って体験してもらいます。 | 振返り(4時間)、レポートは後日返却します |
| **第12週 :**<br>第2回豊後大野視察振り返り<br>第1回と比較して改善された点や不十分だった点など、忌憚なく意見を出し合ってもらいます。 | 振返り(4時間)、レポートは後日返却します |
| **第13週 :**<br>豊後大野事前研修<br>最終報告に際して、班ごとに意見を整理し、まとめてもらいます。 | |
| **第14週 :**<br>最終発表会(1泊2日)<br>発表会の準備として、ポスターやパワーポイントの作成を行ってもらいます。 | 発表の準備、資料作成(4時間) |
| **第15週 :**<br>最終発表会(1泊2日)<br>自分たちの見出した豊後大野の魅力について、胸を張って報告してもらいます。 | 発表の準備、資料作成(4時間) |
| **第16週 :** | |

| | | |
|---|---|---|
| **授業の運営方法** | (1)授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | 「共同担当方式」 |
| | (3)アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| **地域志向科目** | カテゴリー Ⅱ:地域での体験交流活動を教育内容に含む科目 | |
| **備考** | | |

| **○単位を修得するために達成すべき到達目標** | |
|---|---|
| **【関心・意欲・態度】** | 地域の問題を自身の問題と考えて積極的に取り組むことができる。 |
| **【知識・理解】** | 豊後大野市について事前に情報収集を行うことができる。<br>現地で得た情報にもとづいて、複数の人に確認するなどして、情報を正確に把握できる。 |
| **【技能・表現・コミュニケーション】** | 現地住民や関係者と積極的にコミュニケーションを図り、より多くの情報を集めることができる。<br>プレゼン報告に際しては、わかりやすく且つ説得的になるよう工夫を凝らすことができる。 |
| **【思考・判断・創造】** | 地域の魅力を発見し、自分の考えとして地域の可能性を表明することができる。他者の報告を注意深く聞き、疑問点を見出すことができる。他者からの指摘に対して適切な受け答えを行うことができる。 |

| **○成績評価基準(合計100点)** | | | 合計欄 | 100点 |
|---|---|---|---|---|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | **期末試験・中間確認等(テスト)** | **レポート・作品等(提出物)** | **発表・その他(無形成果)** | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| **【関心・意欲・態度】**<br>※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | | **25点** |
| **【知識・理解】**<br>※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。 | | | **25点** |
| **【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】**<br>※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | | **25点** |
| **【思考・判断・創造】**<br>※「考え抜く力」を含む。 | | | **25点** |

**（「人間力」について）**

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

**○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
|---|---|
| **レポート・作品等<br>（提出物）** | Sレベル：　議論を超えて、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。<br>Aレベル：　内容を踏襲し、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。<br>Bレベル：　課題の解決手段はあるが、それを根拠づける説明が少ない。<br>Cレベル：　課題解決の提案がない |
| **発表・その他<br>（無形成果）** | Sレベル：　客観的な説明に加え、聴衆を引き付ける魅力的な発表を行っている。<br>Aレベル：　客観的に論理的に発表している。<br>Bレベル：　客観的ではないが、相手に伝わるよう発表している。<br>Cレベル：　発表の内容が相手に伝わらない。 |